



施工前の注意

作業を確実に行為、上図のような道具及び材料を準備してください。



糊付け（ウォールボンド 100）

接着剤を付けすぎないように注意してください。

採寸と裁断

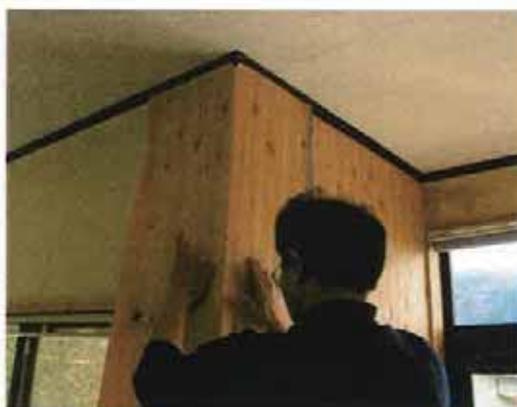
糊付け機械の使用が出来ます。
貼り付け部分の正確な採寸をしてください。
次に多少の作業ロスを考慮して、必要な寸法より4~5cm大きめに裁断してください。



下地処理及び貼付け

コーナー部等に対して曲げて貼りつける場合は、その部分の接着力を高める為、シーラー等を角部から10cm幅程度の範囲に事前に塗布してください。又、弊社品シートの突き合わせジョイントも角部5cm以内を避けて行ってください。

（コーナー部→入隅・出隅・透かし目地等）



番号順に右から貼りだしてください。
（商品裏面の番号を天地を確認し施工ください）

※施工前に下地の矩（かね）、立ちが出ていることを確認してください。矩（かね）、立ちが出ていない面に施工するとしわが入ったり等きれいに貼れませんのでご注意ください。



F★★★★

Japanese Tradition & Diversity Collection

Emma
エマ

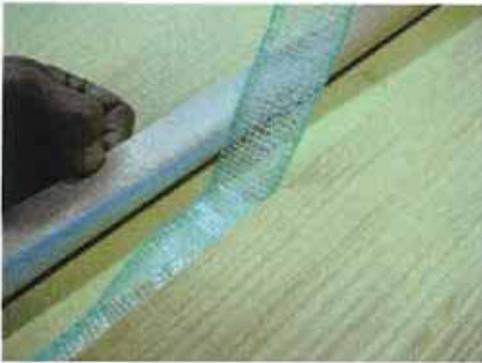
不燃地域材突板シート

施工要領書

A



B



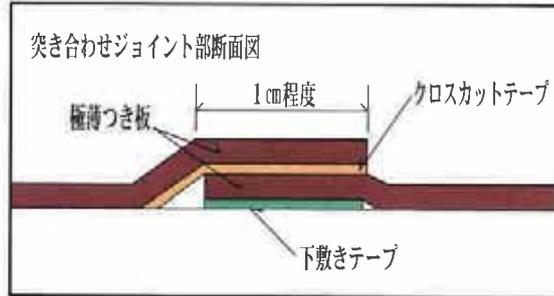
C



D



断面図



突き合わせジョイント方法について

弊社品同士のつなぎ部分をつきあわせ仕上げする場合は、次の手順に従って行って下さい。

断面図

1. ビニールクロス同様に、片側端部に下敷きテープを貼り付けます。もう一方の端部にはクロスカットテープを貼りつけて重ねるようにします。このとき、シートを約1cmずつ重ねるようにします。(断面図)

図A

2. 断面図の重なり部分の中央に定規を当て、カッターナイフで裁断します。(左図A) その際、カッターナイフの刃はシートに対して直角に入れてください。

図B

3. 裁断された端材および基材表面の汚れやゴミを取除きます。(左図B)

図C

4. 左図Cのように、隙間が生じるのを最小限に食い止める為、シートと下地の間に和紙テープをはさみます。次にクロスカットテープと下敷きテープを取除きます。

5. 両側のシートの端部をつき合わせて、指先で押さえつけます。

図D

6. つきあわせ部分に段差が生じていない事を指で確認し、その後、ジョイントローラーで圧着します。(左図D)

7. 最後に、つきあわせ部分に段差あるいは隙間が生じてないかを再確認し、完了です。



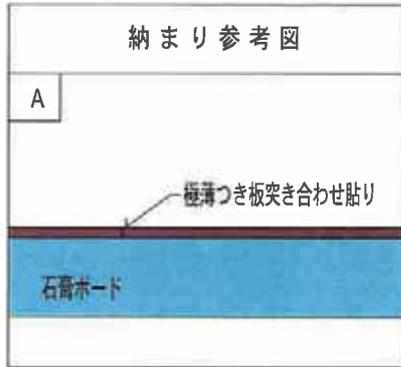
F★★★★

Japanese Tradition & Diversity Collection

Emma
エマ

不燃地域材突板シート

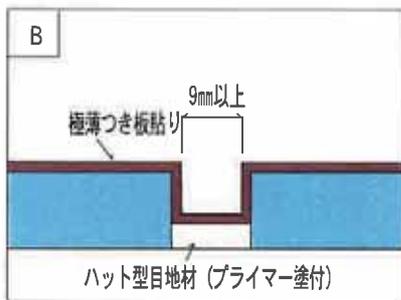
施工要領書



Aベタ貼り

ベタ貼りとは、ビニールクロス同様に重ね切り突き合わせ貼りで弊社品シートをつないでジョイントしていく方法です。

(前ページに従って施工して下さい。)



B透かし目地貼り

① プラスターボード

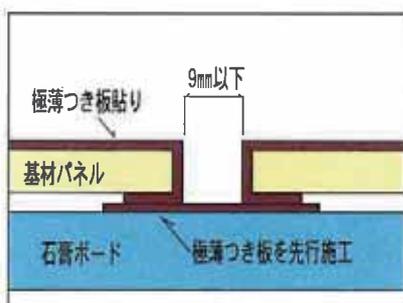
目地部分にへりがくるように幅なりに使用します。(左図) 次のような特徴があります。

- ・ハット型目地材を使用するとプラスターボードのステ貼りが不要になる。
- ・現場にてカットした面を使用する場合は必ずハット型目地材を使用する。
- ・貼り付け完了まで必ず目地棒などを挿入する。

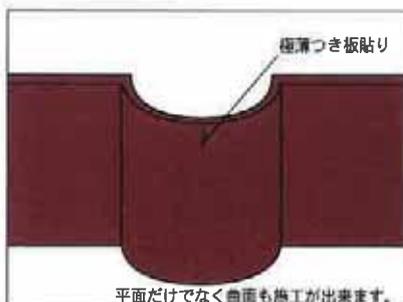
又、望ましい目地の幅は9mm以上、深さは8mm以上です。

② ケイカル板、フレキシブルボード

パネルソーでカットしたものを使用して下さい。現場にてカットする場合や目地の幅、深さはプラスターボード使用時と同様に行ってください。



目地が9mm以下の場合は左図のようにあらかじめプラスターボードへのステ貼りをして下さい。



弊社極薄つき板(恋樹百景)は造形性に優れ平面だけでなく曲面にも施工が出来ます。



F★★★★

Japanese Tradition & Diversity Collection

Emma
エマ

不燃地域材突板シート

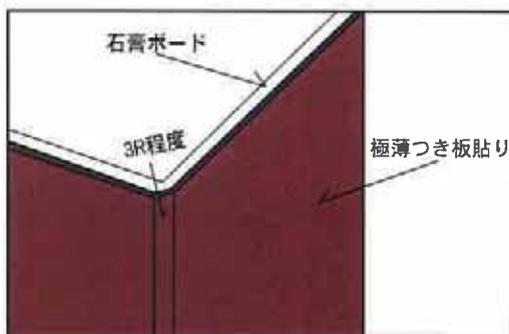
施工要領書

折り曲げ施工性

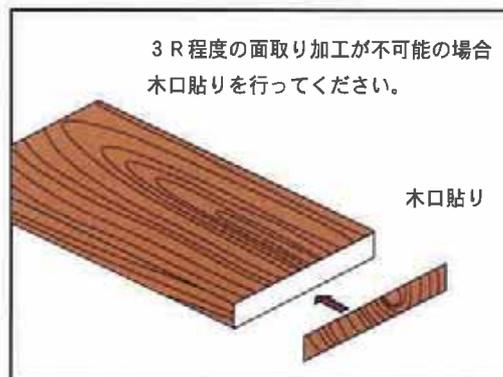
1. 木目と平行方向への折り曲げは可能です。(入隅・出隅・底目地など)
 - ・標準品以外は反発性が高くなりますので角R部への施工は速乾性接着剤等を使用して下さい。
 - ・プラスチックコーナーを用いて施工する場合は、必ずプライマー処理を事前に行ってください。その後パテを行い施工して下さい。
2. 木目と垂直方向への折り曲げは避けて下さい。

角部分に3R程度の面取りを行うと施工可能です。下記の方法にて下地に合わせた方法で行ってください。

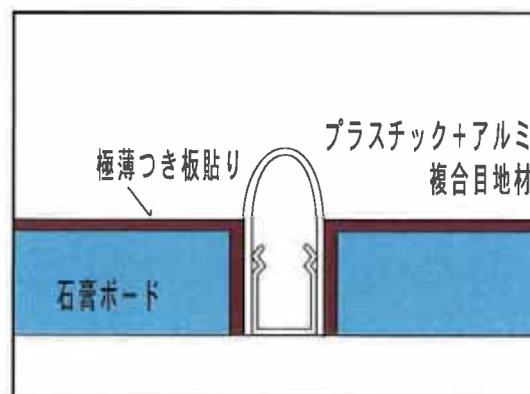
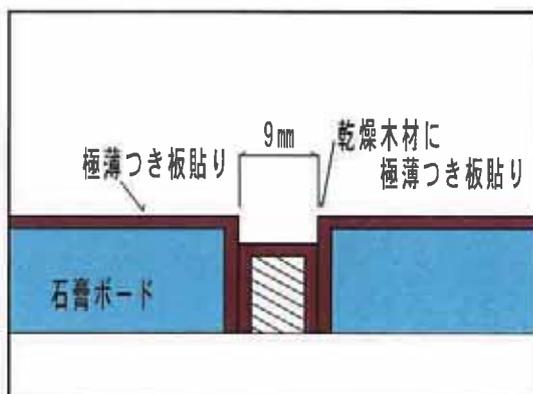
 - ・石膏ボード下地角R部分にプライマーや速乾性接着剤を塗布し密着性を向上させて下さい。
 - ・石膏ボード下地以外の下地は入念にプライマー等を塗布し密着性を向上させて下さい。
 - ・必要に応じて極薄突板恋樹百景の裏側にもプライマーや速乾性接着剤を全面及び部分的に塗布して下さい。
 - ・シートは反発性がありますので、角R部分は入念にローラー掛けを行ってください。
 - ・プラスチックコーナーを用いて施工する場合は、必ずプライマー処理を事前に行ってください。その後パテを行い施工して下さい。速乾性接着剤を用いる場合はパテ処理後に行ってください。



木目と垂直方向の曲げは3R程度の面取り加工を行ってください。面取りが出来ない場合は木口貼りを行ってください。



その他参考ディテール





F★★★★

Japanese Tradition & Diversity Collection

Emma
エマ

不燃地域材突板シート

施工要領書

貼付基材 下地処理	ブラスターボード	ケイ酸カルシウム板
前処理	釘頭処理	釘頭処理
シーラー処理	必要に応じて使用	シーラーセットアップ (ウォールボンド工業)
パテ処理	ウォールパテG ウォールパテS	ウォールパテG ウォールパテS
表面研磨	#100サンドペーパー	#100サンドペーパー
接着剤	ウォールボンド100 (ウォールボンド工業)	ウォールボンド100 (ウォールボンド工業)
〈コーナー曲げ部〉 プライマー処理	390クリーン (ウォールボンド工業)	390クリーン (ウォールボンド工業)
角曲げ部 速乾性接着剤	M-66 (ノーテープ工業)	M-66 (ノーテープ工業)

※施工糊は薄めず原液で使用して下さい。

※平面が少なく、Rや曲げが多い壁面への施工の場合の施工糊は、「ウォールボンド200 (ウォールボンド工業)」を使用して下さい。

※コーナー部のプライマー処理は原液で行ってください。

※シーラー処理はメーカーの希釈率に従い行ってください。

※オープンタイムは5～10分です。但し冬季は20～30分必要となります。

※吸い込みが激しい基材に対しては、必ずシーラー等で吸水性を調整しながら下地処理をしてください。

※ベニヤや木材下地はヤニ・アク等の油分をよく拭き取ってから貼り付けてください。

※耐水性石膏ボードへはシーラー処理、プライマー処理を十分に行ってください。

※表面へ水分を付着させると本品が伸縮しやすくなりますので十分気をつけて下さい。

※モルタル下地への直貼り施工は推奨いたしません。

※金属板・アルミニウム合金板下地への直貼り施工は推奨いたしません。

施工時・施工後の特徴

1次回のリフォーム時について

ピールアップ性がありますので裏紙が2層に剥離しやすい様に商品設計されています。又、簡素化を図る為には、弊社品の表面にエチレン酢ビ系のペンキ下地用シーラー等を行い、その上から壁紙を貼り付ける事ができます。その場合も下地処理は平滑に行い、パテ・糊についてもエチレン酢ビ系のペンキ下地に対応した壁紙専用品をご使用下さい。



F★★★★

Japanese Tradition & Diversity Collection

Emma
エマ

不燃地域材突板シート

施工要領書

2 施工時の特長について

	弊社品
施工可能時間	糊付け後 60 分以内が目安 ◎アイハギ発生しにくい
寸法変化	小（巾で最大2mm程度） ◎目開きほとんど発生しない
接着剤	ウォールボンド 100 （原液タイプでんぶん糊）
他特徴	表層に水分が移行しない 刃物切れ不安定な場合アリ ◎エンボスがつぶれにくい △水分がなじまず多少硬い

3 タタミジワ防止

糊付け後は折り曲げ痕がつかないように大きくたたみ上積みは避けて下さい。重量がありますので重ね置きは絶対避けて下さい。

4 オープンタイム

適切なオープンタイム（5～10分）をとり施工を開始してください。

5 取り扱い（折りたたみ、なで付け等）を丁寧に行ってください。

接着剤塗布後は、壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押さえないようにし、積み重ねは避けて下さい。無理な力が加わると、表面の天然木にひび割れが発生することがあります。又、材料運搬の際には中央部で折り曲がらないようご注意ください。適切なオープンタイムは5～10分間ですが、吸水性の低い下地の場合や冬場などの低温時（10℃以下）は長め（30分間程度）とってください。糊だまりによるヨコスジ状の不陸（凹凸）が残らないよう、プラスチックキーパーもしくはローラーで平滑にならしてください。吸水性の低い下地では、繰り返し何度もエア抜きを行って下さい。接着剤の水分を下地が吸収しにくいので、壁紙の後伸びによるフクレが発生する事があります。通常の施工可能時間は、およそ60分間です。（但し、環境により多少前後することがあります。） 施工時は浮きや不陸がないか手で触診しながら施工してください。

塩ビに含まれる可塑剤により壁紙表面が変質することがありますので、合成皮革等の塩ビ製品と接触させないでください。

※施工中に製品の欠陥を発見した場合は直ちに作業を中止して頂き当社までご連絡下さい。尚、カットした製品の返品、又、3巾以降の施工費等のクレームはお受け致しかねますのでご了承下さい。

商品・天然木の特性

この製品は天然木を使用していますので、1枚ずつ色柄が異なります。ご使用前に木目柄を確認いただきバランスを確認してください。

商品の裏面に記載の番号順に右から左へと貼り付けてください。その際、商品の天地にもご注意ください。同ロット内でも接ぎ枚数の違いが生じますのでご注意ください。

木によりアバレ、引っ張り等が発生する場合や節や人皮、逆目等の表情が入る場合があります。

施工のポイント

施工上の注意

1 副資材について

パテ・シーラー・糊等は壁紙施工専用品をご使用ください。専用品以外のものを使用すると、目スキ、膨れを発生させる事があります。副資材メーカーの施工要領・取り扱い注意事項を必ずご一読ください。

下地の調整

1 下地と同色のパテを使用

施工後、下地の色が見える場合がありますので、パテは、下地と同色のものを使用してください。

2 下地は乾燥させてから

下地が十分に乾燥してから施工を始めてください。

湿気を帯びていると、壁紙の変色・剥がれ・浮き・カビを発生させることがあります。

3 下地の平滑仕上げ

下地は平滑に仕上げてください。ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈めさび止めをしてください。

4 出隅等の曲げ部分の鋭利な下地の調整について

出隅、入隅面に施工する場合は、必ず下地の矩(かね)が出ていることを確認してください。矩(かね)が出ない面に施工すると、しわが入ったり、底目地面ではきれいに折り曲げが出来なくなります。また、平面分での浮きの原因となる場合があります。天然素材の為、曲げに対して多少反発があります。下地の密着性向上の為、プライマー処理を行ってください。

5 塗料が下地に付着していると

塗料(ペンキ、オイルステイン)が下地に付着している場合は、必ずプライマー処理をしてください。変色や剥がれ、目スキを防ぎます。

6 リフォーム時

貼替え時、以前貼られていた壁紙の裏紙が残っている場合残った裏紙は完全に剥がしてから貼ってください。そのまま施工すると、目スキや浮きを発生させます。

施工糊

1 糊メーカーの注意事項を確認(気温5度以下では使用しないでください)

施工糊の希釈は行わず原液使用を守ってください。塗布量は140~160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。塗布量の不足は、壁紙のアイハギや接着不良を発生させます。下地の種類と状態、温度、湿度に合わせて、390クリーン等のエチレン酢ビ系接着剤等を適量添加してください。(糊を付けすぎると浮きや膨れの原因となりますのでご注意ください)

2 糊付け後の注意

糊付け後、壁紙をきつく折り畳んだり、湾曲部に荷重がかからないようにしてください。折りじわがつくと元に戻らない場合もございます。特に木目方向と垂直方向に折り曲げる時に折りじわが付きやすいので十分ご注意ください。巻きグセが付いている場合は、逆巻き等をして出来るだけ平坦な状態にして下さい。きつく逆巻きすると、小ジワが付く場合があります。

3 壁紙は伸び縮みします

壁紙に糊付け後、室内環境及び季節に応じたオープンタイム(養生時間)を取ってください。適切なオープンタイムは膨れや目スキの発生を防ぎます。

4 付着した糊や汚れの処理

壁紙の表面や回り縁等に糊、汚れが付かないように注意してください。付着した場合は、きれいな水を含ませた布で直ちにふき取り、最後に乾拭きを行ってください。特に濃色の壁紙は糊の拭き残しにご注意ください。糊が付着したまま放置するとかびや変色の原因になります。



F★★★★

Japanese Tradition & Diversity Collection

Emma
エマ

不燃地域材突板シート

施工要領書

貼り付け

1 これで大丈夫か？貼り出し確認

壁紙を三巾程度貼った後、商品に問題がない事を確認した上で、作業を続行してください。問題のある場合には販売店までご連絡ください。

※施工中に製品の欠陥を発見した場合は直ちに作業を中止して頂き販売店までご連絡ください。
尚、カットした製品の返品、又、3巾以降の施工費等のクレームはお受けいたしかねますのでご了承ください。

2 カットに地ベラを使わない

地ベラを使った重ね切りは避け、必ず定規（桃山など）をご使用ください。地ベラを使うと切り口が斜めになり目スキの原因となります。

3 ローラーがけは力まずに

ローラーがけは、強くかけ過ぎないでください。クセが残ったり、光沢ムラを発生させます。撫で付け、エア抜きは、平行方向を基本に行ってください。強く横撫ですると、数日後に目スキが発生する事があります。

4 石膏ボードを切らない

重ね切りを行う場合は、石膏ボードの表層紙まで切り込まないようご注意ください。目スキが発生する原因となります。切り込み防止として必ず、下敷テープを使用してください。尚、ジョイント時には目スキ防止の為、和紙テープを使用してください。

5 プラスチックスキージーでシワを伸ばす（撫で刷毛は使用しないでください）

壁紙を貼りつけた後、プラスチックスキージーで表面から撫で付け木目と並行方向にエアを抜き、シワを伸ばし余分な接着剤を取り除きます。樹種によりアバラがある材料もありますので圧着部を手で触り、浮きがないか確認しながら押さえてください。

6 建物の構造に適した施工をお願いします

プレキャストコンクリート、ALC板などは建物の構造上、板の継ぎ目部分を振動の逃げ場にしてありますので、これをまたいで壁紙を貼ると、膨れ、よじれ、割れなどが発生します。この様な場合、天然素材で出来ている壁紙では防ぐ事は出来ません。入隅の場合、入隅でカットするようにして下さい。木製の柱、胴縁、木製パネルにボードを付けた下地の場合、木材の乾湿による下地の動きにつれて、継ぎ目や、出隅、入隅にすき間が生じる事があります。この場合も上記同様、入隅でカットしてください。

7 コーキング処理

貼り付けた壁紙の端部には状況に応じてコーキング処理を行ってください。コーキング材は壁紙と同色又はクリアを使用し、外観を整えるようにしてください。

8 補修

軽微な表面の破損箇所は着色剤で補修を行ってください。着色剤 → 例) かくれん棒・色鉛筆・ヤヨイキャンパス等破損の程度によって、部分的な貼り替えを行う必要がある場合は、発注時の予備枚数をご使用下さい。本品は天然素材の為、追加発注による貼り替えの場合、木目柄があわないので十分ご注意ください。

尚、補修作業で改善しない場合は専門の補修業者に依頼してください。

養生

1 施工後は自然乾燥を

施工後は接着が安定するまで自然乾燥させてください。施工中施工後とも冷暖房などによる急激な室温の変化は避けて下さい。目スキ、剥がれ浮きが発生します。

2 粘着性の強い養生テープは使用しないでください

粘着性の強いマスキングテープ（養生テープ）の使用は避けてください。又、粘着性の弱いものであっても貼り付けたまま長時間放置しないでください。粘着材が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。又、テープを剥がすときに壁紙を破損することがあります。

養生をする場合は、必ず前面に養生を行ってください。（部分養生をすると部分日焼けの原因となります）